

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	熊本市家庭教育支援チーム “マスタース熊本” (呼称:特定非営利活動法人教育支援プロジェクト・マスタース熊本) URL: http://mastarskuma.html.xdomain.jp/
②活動拠点	熊本市(市民活動支援センター・あいぽーと)
③活動範囲	熊本市内
④組織体制	25 人 元校長 元教員 元公立幼稚園長 現小学校教諭 保育士 建築業 ピアノ教師 主婦 会社員 スイミング指導者 (現役職等:自治会長 民生委員 人権擁護委員 保護司 文化財保護委員)
⑤活動開始年度	平成 19 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 事務局長 民長 博美 (TEL)050-3535-3683 (E-mail)mastarskuma@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(オンラインZOOMによる学びや相談など対応)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

【具体的な活動内容】



③活動内容

① 親の学びの場の企画運営

講座名「親のカスキルアップセミナー&親子体験型」

会場または、ZOOMによるオンラインによる講座と屋外での体験活動

子どもの発達プロセスにおける行動や感情を教育の専門家から学び、子育て中の保護者同士がつながり、互いの悩みや不安など共有したり、日頃の子育ての工夫などを情報交換などすることで、自分を認めて保護者自身が自己肯定感を高め「良好な親子関係」と「笑顔の日々」を目的に活動を行った。無料の託児も開設し、子どもから離れて学ぶ場の提供、親子参加型の内容を盛り込み、非日常での親子関係のよりよい関係のきっかけとなる場とした。

② オンライン公民館

令和4年5月から2年にわたりオンライン ZOOMによる「地域リーダー養成講座」を月1回第三火曜日に定期的に行い、地域ボランティアや家庭教育を支援するリーダースキルアップの講座を開催している。また、同時にその講座に参加しているメンバーによる子育て中や地域の方のための講座を公民館などで開催している。令和6年度は、8回の講座を対面で行うための企画準備中。

④活動の成果

(活動実績がある場合)

① 座学のセミナーは、対面の講座とオンライン参加希望の両方で受け入れた。子ども連れでもゆっくり受講可能できるように別室にて託児も受け入れを行った。昨年好評であった子どもと一緒に体験する会を増やし、親子で箱庭に見立てた多肉寄せ植えなど創造力を育む内容や花園校区の公園を愛する会の地域の方の協力など得て、公民館で防災士の話を聞いた後、公園において実践で様々な火の起こし方など親子が共に学び育ちあう機会を設けた。また、江津湖では渡り鳥や野鳥の観察をし、親子で身近な地域の自然の恵みを体験ができたととても好評であった。座学では、専門の講師より子育てにおいて日常の悩みや困ったことなど質問によりアドバイスが、これから役に立つ内容であった。また、参加者同士が会場やオンラインでも交流することで互いの子育てを話すことで日常の悩みや困ったことなどを分かち合い「良好な

	<p>親子関係」のきっかけやこれからの子育てに役立てるような場を作ることができた。今回は、家族全員で来場し、子どもを託し、夫婦で子育ての学びをする姿も見られ、夫婦で熱心に子育てに向き合う保護者に感心させられた。スタッフのオンラインと会場による講座の同時進行や準備もスキルアップした。また、会員外の地域ボランティアのサポートや託児の手伝い、学生のボランティアなど多くのスタッフに恵まれ、スムーズな進行を行うことが出来た。</p> <p>② これから子育て中の若い世代が在宅でもオンラインを通して保護者同士の交流や学びの提供ができるようテクニカルの向上、オンラインでも十分なコミュニケーションをとれるようなワークの進行などスキルアップを行ってきた。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (熊本市助成金、企業寄附)</p>